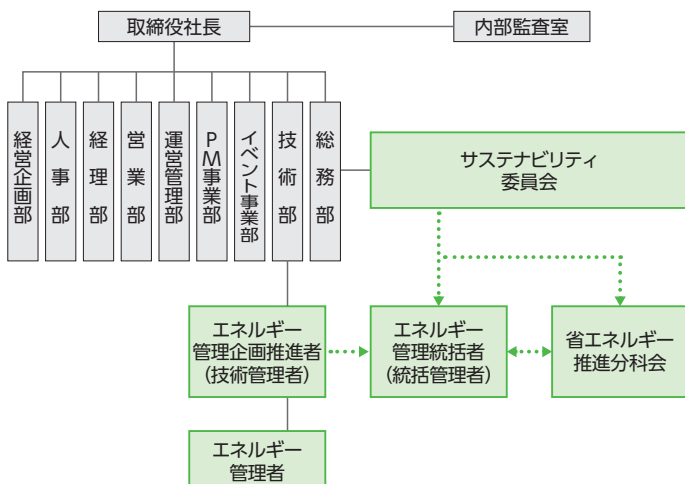


サステナビリティ推進体制

サステナビリティの推進を経営の重要課題と捉え、その推進の強化を目的とし、代表取締役社長を委員長、常勤役員及び各部部長を委員として構成するサステナビリティ委員会にてサステナビリティ推進に関する事項の報告や審議を行っております。

本委員会では、当社が策定した「2030年に向けてのSDGs目標設定」の各項目に対する進捗確認や下部組織の省エネルギー推進分科会による省エネルギー管理活動の報告等を行っています。

総務部が同委員会の事務局として運営しており、親会社三菱地所(株)サステナビリティ推進部等と連携しながら、当社及び子会社のサステナビリティに関する取組みを牽引してまいります。



企業行動憲章

- 1 わたしたちは、誠実かつ公正透明な企業活動を行います
- 2 わたしたちは、安全・安心を提供します
- 3 わたしたちは、企業市民として社会との調和に努めます
- 4 わたしたちは、活力ある職場を実現します

株式会社東京流通センター

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1

TEL:03-3767-2111 (代表)

FAX:03-3767-2053

<https://www.trc-inc.co.jp/>

TRC
Tokyo Ryutsu Center

SUSTAINABILITY REPORT 2023/4-2024/3



2023年8月末 物流ビルA棟竣工



屋上アメニティスペース

全てのワーカーの
ためのリフレッシュ
スペース



壁面・屋上緑化

環境への配慮とともに
建物利用者への安らぎ
と心地よさを提供でき
るよう1階および屋上
に緑を配置



休憩室

明るさと落ち着きが共存する
休憩室
利便性の良い1階南・北エント
ランス周辺に1箇所ずつ配置



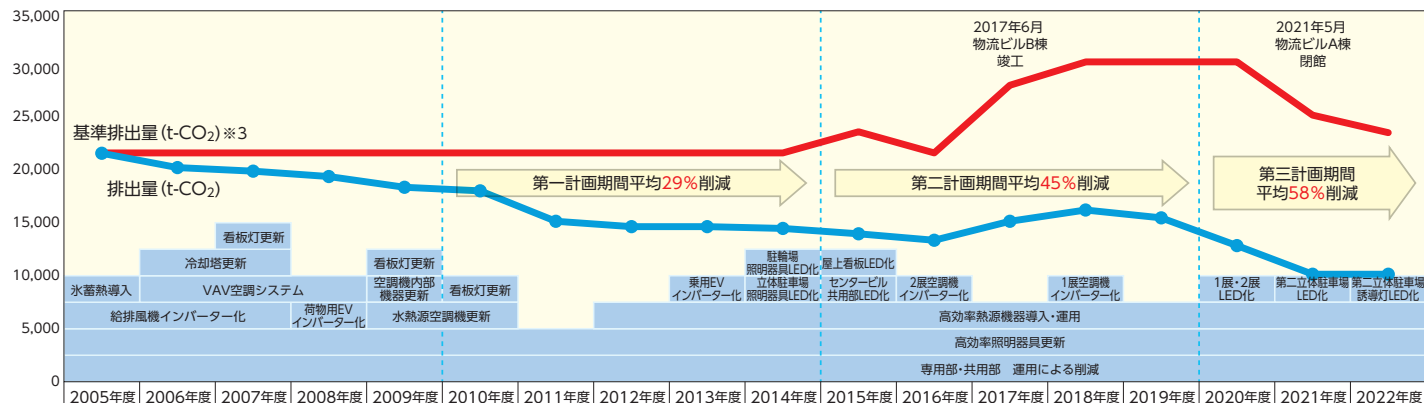
低炭素社会への取り組み

今年度取り組み実績

TRCは、東京都環境確保条例に基づく特定地球温暖化対策事業所※1として、既に終了した第一計画期間(2010～2014年度)のCO₂ 換算総排出量(テナント部含む)を年平均で基準排出量の92%以下に、また、第二計画期間(2015～2019年度)では83%以下に、現第三計画期間(2020～2024年度)には73%以下、さらに第四計画期間(2025年～2029年)では50%以下の削減が義務付けられています。

過去18年間では、最新の各種省エネ機器の導入及び更新の計画の実施や運用方法等の改善、また、物流ビルA棟・B棟の建替え(省エネ性能の向上)による温室効果ガス削減対策を鋭意行っています。

その結果、第一計画期間では基準排出量に対し平均29%の削減



廃棄物再利用率向上

廃棄物再利用率については、2023年度の実績では施設全体で74.5%となり、前年度(2022年度)実績40.1%から大幅に向上しました。また、廃棄物の分別方法を分かりやすくご案内できるよう図解入りの「廃棄物処理ハンドブック」を作成するなど、更なる廃棄物の再利用率向上に努めてまいりました。

TABLE FOR TWOへの取組み

当社が運営する飲食店舗では、日本をはじめとした先進国で1食とるごとに開発途上国に1食が贈られる TABLE FOR TWO(=TFT)プログラムに賛同し、ヘルシーメニュー「TFTランチ」として提供を開始しております。また、構内で働く方々の食に起因する生活習慣病改善に向けた取り組みにもサポートしております。

を達成。また、第二計画期間についても平均で45%の削減が達成できました。第三計画期間については、2022年度時点で58%の削減ができています。

引き続きテナント・協力会社の皆様とともに温室効果ガス削減対策に積極的に取り組んでまいります。なお、TRCでは共用部等の電力使用量は非化石証書を用いて「RE100※2」に対応しております。

※1 【特定地球温暖化対策事業所】

3年度連続して、燃料、熱、電気の使用量が原油換算で年間合計 1,500 kL 以上となった事業所。

※2 【RE100】とは

自然エネルギー 100%での事業活動を行うという宣言をした国際的な企業集団のことで、2050年までに、事業活動に使用するエネルギーを太陽光や風力などの再生可能エネルギーで100%調達することを目標に掲げています。

※3 【基準排出量変更について】

①第二計画期間(2015年度)より電気の換算係数が変更となり、基準排出量も併せて変更。

②2015・2016年度物流ビルB棟の閉館に伴い基準排出量の変更。

③2017年度は物流ビルB棟の竣工に伴い基準排出量の変更。

④2021・2022年度は物流ビルA棟の閉館に伴い基準排出量の変更。

⑤2023年度は新物流ビルA棟の竣工に伴い基準排出量の変更を予定。

サステナビリティ展示取組み



今年度より事務所内休憩スペースにおいて、TRC社員へ向けたサステナビリティへの啓発活動を目的に、三菱地所(株)サステナビリティ推進部と連携して、ポップアップ展示を展開しています。「サステナブルファッション」「サーキュラーエコノミー」「捨てる」など、様々なサステナビリティに関するテーマに沿った、映像や展示プロダクトを見て！触れて！感じて！貰えるよう工夫を凝らした展示となっています。

活力ある職場作り

社員コミュニケーション促進の取組み

コロナ禍を経て社内コミュニケーションが低下傾向となっていたことから、「小さなものから」様々な角度で各種施策を検討・実施しました。部署横断的に集まって執務をするコミュニケーションワークデーの定期開催、懇親費用の補助、全役職員のプロフィールシートの共有、ウォーキング大会の実施など複数の施策を実施することで、コミュニケーションの活性化を図りました。

多言語化対応

当社ではグローバル化の加速、テナントの外国人人材の受け入れ増加、展示イベントによる外国人来場者増加などの背景から、構内サイン看板並びに非常放送設備(物流施設のみ:物流ビルD棟は除く)の多言語化対応を行うことで、多様性と包括性の実現を図っています。



INNOVATION

新たな価値創造の場

TRC LODGE 活動取組み

「TRC LODGE」は、中長期視点での「物流業界全体の課題解決」を目指して、物流ソリューション出展企業とご来場者様のビジネスマッチングの場を提供しております。パネル・動画の常設展示や内覧会を通じ、人手不足・長時間労働の課題を解決する効率化・省人化を始め、



SDGs・BCP等の多岐に渡るソリューションを提供し、ハード・ソフト両面からご来場者様の物流業務効率化・高度化を支援してまいります。

RESILIENCE

安全・安心の提供

防災資格の取得

自衛消防活動の一環として、救護活動能力向上を目的に「普通救命講習会」を構内にて11月に開催しており、当社をはじめテナント各社も積極的に参加しています。本活動の成果として、当社役職員の90%以上が認定証を保有していることから、当社は消防庁が推奨する応急手当奨励制度において、救命講習受講優良証が交付されました。



防災備蓄品の入替・寄付

東京都帰宅困難者対策条例に基づき、従業員及び帰宅困難者への災害時対応のひとつとして非常用備蓄品等を保管し、消費期限前の適切な時期に更新を実施しています。今年度に計画した保存食の更新に際しては、既存の保存食2,220食の有効利用として、特定非営利活動法人FUKUSHIMAいのちの水へ寄付を行い、先方より感謝状が授与されました。

BCM格付Aランク取得

(株)日本政策投資銀行が実施する「DBJ BCM 格付」において、防災及び事業継続への取り組みが特に優れているとして、最高ランク(Aランク)を取得しました。



物流ビルA棟及びB棟への免震構造導入等のハード対策、テナント参加型の防災訓練や防災ガイドブックの公表、有事に対応可能な従業員の体系的な確保等を通じて自社及び顧客の防災力を強化している点が評価されました。

災害時物資受け入れ拠点として大田区との連携

当社、大田区、及び当社テナントの(株)まつの、災害時、円滑に物資を受け入れ、区内各避難所等へ輸送する物資輸送体制を構築するために、「大田区、株式会社東京流通センター及び株式会社まつのとの災害時における物資の受入れ及び輸送等並びに物資の受入れ拠点の設置等に関する協定」を締結しました。

